

飛行船を活用した地域づくりに係る基礎調査

土浦市及び霞ヶ浦周辺地域の活性化を図るため、飛行船を活用した地域づくりの可能性等について検討することを目的として、「飛行船を活用した地域づくりに係る基礎調査」を平成17年度、平成18年度の2カ年で、茨城県と共同で実施しました。

基礎調査の概要

飛行船の活用事例の研究

- 1 飛行船の歴史
- 2 世界の飛行船市場の現状
- 3 海外における飛行船を活用した地域づくりの事例
- 4 国内における飛行船事業の歴史と活用事例

土浦市の特性分析

- 1 土浦市の広域的ポジショニング
- 2 土浦市の人口・年齢構造
- 3 土浦市の財政
- 4 土浦市の産業構造
- 5 土浦市の商工業
- 6 土浦市の農業
- 7 土浦市の観光
- 8 土浦市の歴史

飛行船の活用状況

- 1 小型飛行機、ヘリコプターと比較した飛行船の特性分析
- 2 飛行船の活用事業ドメインの展望
- 3 飛行船の活用上の課題と期待

飛行船を活用した地域づくりの方向性

- 1 土浦・霞ヶ浦地域のリソース
- 2 飛行船を活用した地域づくりの留意点
- 3 飛行船の特性からみた地域づくりへの方向性
- 4 飛行船を活用した地域づくり拠点の機能
- 5 飛行船を活用した地域づくり拠点（飛行船基地）の施設構成案

飛行船基地の規模、内容、候補地の検討

- 1 飛行場及び飛行船基地に関する法律上の整理
- 2 飛行船基地の必要施設の検討
- 3 飛行船基地の規模検討
- 4 飛行船基地の立地条件の整理
- 5 飛行船基地の候補地の抽出及び評価

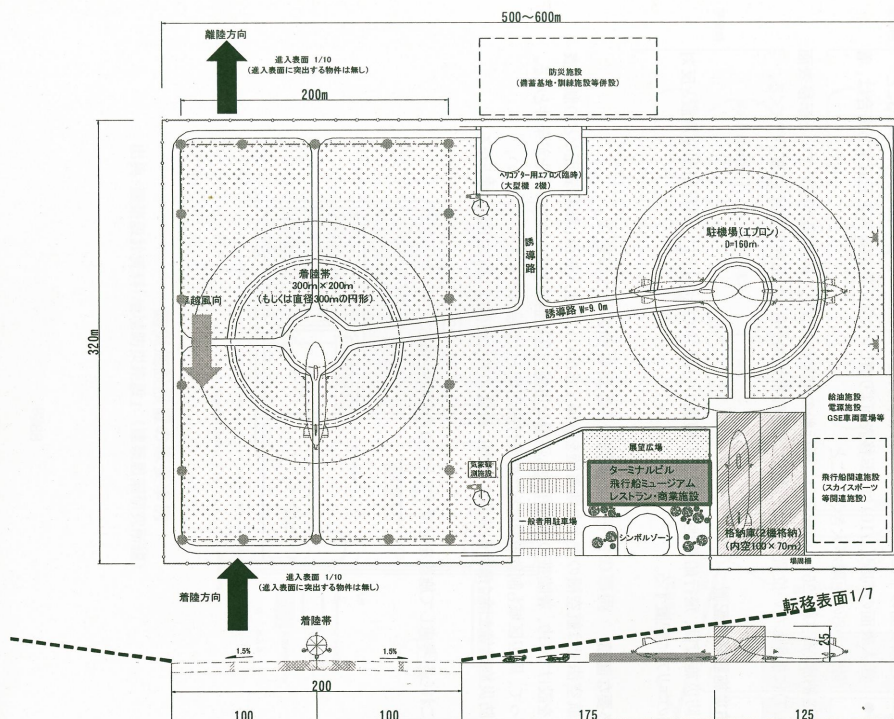
経営主体及び経営方法の検討

- 1 類似飛行場の事業構造の分析
- 2 飛行船基地の経営主体のイメージ
- 3 飛行船基地の経営方法の検討
- 4 今後の課題

飛行船を活用したまちづくりの方向性の検討

飛行船を活用した地域づくりに係る基礎調査報告書【概要版】

飛行船基地の施設配置案



※ 必要面積はツェッペリンNT(小型)を前提とした最小必要面積であり、中型飛行船(旅客人員40人以上)の開発が進めば、より広大な面積が必要になる。



施設	面積
着陸帯	6.5ha
誘導路帯	1.5ha
駐機場	2ha
格納庫	0.5ha
空港ビル	0.5ha
合計	11ha

内訳	金額	累計金額
土木工事*	1.9億円	1.9億円
航空保安施設工事	0.8億円	2.7億円
格納庫	10.1億円	12.8億円
空港ビル	5.0億円	17.8億円
合計	17.8億円	17.8億円

*着陸帯、誘導路帯、駐機場等の土木工事費分
土地取得費、土地造成費は含まず。

- 凡例
- 境界線
 - エアロ・観音灯
 - 風向灯